



2019年6月

菖蒲号

東京歯科大学千葉歯科医療センター
医療連携NEWS デンタルドットコム

医療連携委員より

保存科から 一般歯科系（保存科）助教 色川 大輔



平素より患者様をご紹介頂き誠にありがとうございます。

保存科では主にかかりつけ医で対応が困難な専門性の高い歯内療法と歯周療法を行っております。現在、保存科は、担当医制、完全予約制となっております。患者様に紹介状（診療情報提供書）をお渡しになりましたら、初診来院日は事前に電話で予約を取られるようご指示をお願いいたします。

紹介状に関しましては、部位も含め治療経緯を詳細に記載していただき、宛名には治療内容に応じて、保存科宛だけでなく歯内療法、歯周療法等の明記も

お願いいたします。大学機能の水道橋移転に伴って医局員も水道橋へ順次移動していることから、診療規模も縮小しています。保存科においても医局員が減少しているため、予約の間隔が大変長くなっているのが現状です。治療をなるべくスムーズにすすめるため、治療部位も出来る限り限定していただくようお願いいたします。（定期検診などはお受けいたしかねますのでよろしくお願いいたします。）また、応急的な処置（急性症状の寛解のための投薬や消毒など）や治療前処置（根管治療のための補綴物、コアの除去、歯周治療における歯周基本治療として、う蝕処置、TBIなど）は極力紹介元にて対応いただきますようお願いいたします。

専門性のある治療として、歯内療法では、手術用顕微鏡を用いた根管治療を行っております。肉眼では見ることの出来ない所を明確に観察しながら処置を行うことができ、診断や処置の精度を向上させることができます。通常の治療を行っても症状が改善されない場合には、歯根端切除手術を行うことがあります、そのような精密な手術にも手術用顕微鏡はとても有効です。

歯周療法では、ケースは限定されますが、近年、厚生労働省より承認を受け、保険導入された、歯周組織再生剤「リグロス®」を用いた歯周組織再生療法などを行っております。また、歯周組織再生療法以外の歯周外科治療も行っていますが、歯周基本治療が十分に完了しないと歯周外科治療にすすめないため、治療期間が大変長くなっています。患者様には、歯周治療について十分に説明し、理解していただいた上で着実に進めていきます。

今後も施設は縮小しますが、先生方と協力しながら専門性のある治療を中心地域に貢献していくことを考えております。何卒よろしくお願いいたします。



図1:手術用顕微鏡を用いた歯根端切除術



図2:歯周組織再生剤「リグロス®」を用いた歯周組織再生療法

●口腔がん集団検診開催予定

香取市/9月29日(日) 印旛郡市佐倉地区/10月20日(日) 習志野市 / 10月27日(日)

東京歯科大学千葉歯科医療センター 医療連携室 発行 TEL 043-270-3279 ／ FAX 043-270-3648

URL: <http://www.tdc.ac.jp/ch/tabid/300/Default.aspx>

東京歯科 千葉 検索

バックナンバーはホームページからもご覧になります。

医療連携講演会開催のご案内

本年も「東京歯科大学千葉歯科医療センター医療連携講演会」を開催することとなりました。ご多忙中とは存じますが、お知り合いの先生もお誘いあわせの上、是非ご参加下さいますようお願い申し上げます。

開催日時：7月4日(木) 受付開始 15:00 講演時間 15:30～18:00

開催場所：東京歯科大学千葉歯科医療センター 実習講義棟3F 歯科臨床研修医室

第1部 小児歯科を知る

座長 育成歯科系（矯正歯科）

講 師 野嶋 邦彦

1. 小児の時間軸と口腔内からの“Sign”

演者 育成歯科系（小児歯科）

助 教 荒井 亮 15:35～16:15

2. 「令和の子ども」への口腔機能の対応

演者 専門歯科系（摂食嚥下リハビリテーション科）准教授 大久保 真衣 16:15～16:45

第2部 接着を知る

座長 一般歯科系（総合診療科）

病院教授 高橋 俊之

メタルフリークラウンの接着を知る

～CAD/CAM冠・オーラルセラミッククラウンの臨床のポイント～

演者 クラウンブリッジ補綴学講座

教 授 佐藤 亭 17:00～17:50

※ ご参加を希望される方は当センターホームページの「医療連携活動のご案内」からお申し込み下さい。

※ 駐車場は患者用センター駐車場のみとなっており、駐車場に限りがありますので、公共交通機関等をご利用下さいますようお願い申し上げます。

■ 多くの先生方のご参加をお待ちしております。

初診受付時間の変更について

初診受付時間が5月13日から下記の通り変更となりました。

- 変更前 8:50～11:00
- 変更後 8:50～10:30
(センター代表 043-270-3915)



紹介状（診療情報提供書）について【お願い】

- ・患者様の診療を円滑に行うために、紹介状の宛名と封筒には必ず診療科名をご明記下さい。
- ・明記された診療科名と紹介状の内容に相違がありますと、治療の開始が遅れる場合がありますのでご注意下さい。また、紹介する診療科をお迷いの場合は、医療連携室へご相談下さい。
(医療連携室 043-270-3279)